

海外安全対策情報（令和7年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表による犯罪資料報告によると、パラナ州における2024年の殺人事件の発生件数は、1,620件（前年比15.7%減）。クリチバ市における2024年の殺人件数は、173件（前年比17.6%減）。クリチバ市の人口10万人あたりの殺人件数は、9.75件であり、日本の0.73件を大きく上回る。
- (2) パラナ州における2024年の麻薬の密輸・密売件数は、13,389件（前年比9.1%増）、麻薬の所持・使用等犯罪件数は、14,254件（前年比6.7%増）と麻薬に関わる犯罪が増加傾向にある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ市を含む大クリチバ圏においては、銀行、住居、店舗及びレストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。
- (2) パラナ州はパラグアイ国境からブラジルに流入する大量の麻薬（大麻、クラック、オキシィ等）及び銃器類の密輸入ルートとなっており、密輸組織絡みの殺人事件が頻発している。
- (3) クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

3 犯罪事例（令和7年度第1四半期）

- (1) 5月3日未明、クリチバ市バテウ地区（Batel）ヴィセンテ・マシヤド大通り（Av Vicente Machado）とドトール・カルロス・デ・カルヴァーリョ通り（Alameda Dr. Carlos de Carvalho）の間に位置するフランシスコ・ロシャ通り（Rua Francisco Rocha、在クリチバ日本国総領事館から約1.5キロメートル）で警察官と麻薬密売人の中で銃撃戦が発生。警察官が車に乗った麻薬密売人を発見し、停止命令を出したが、麻薬密売人が従わず、銃撃戦に発展し、容疑者が死亡した。
- (2) 5月16日午前0時30分、クリチバ市セントロ地区（Centro）のセッテ・デ・セテンブロ通り（Avenida Sete de Setembro、市営市場（Mercado Municipal）付近）で、強盗事件が発生。男性1人が3人組の強盗により腹部を刃物で刺され、強盗は携帯電話を奪って逃走した。